

①ディレクトフォース（三菱）について

今回の東大見学会でディレクトフォースの方々や三菱の社員の方々と直接お話することで、とても貴重な体験ができたと思っています。そこで聞けたお話はどれもとても興味深いものでした。

まず、三菱の会社紹介。今まで私は、三菱は自動車事業がメインの会社だと思っていました。しかし、説明をきくと、魚事業や、石油方面など、様々な方面にも事業を展開していることがわかりました。また、2011年に起きた東日本大震災の復興にも大きく携わっているということを改めて詳しく知ることができました。事前にも三菱について調べましたが、他にもどんな事業を行っていて、日本、世界でどのような活躍をしているのかさらに詳しく調べてみようと思いました。

次に、社員の方とディレクトフォースの方々も交えて「日本と海外の価値観の違い」についてディスカッションをしました。海外経験のある社員の方や海外（主に欧米）にホームステイに行ったことのある同級生からたくさんの体験談を聞くことができました。日本とはサイズ感がちがう、遠回しがちな日本とちがってイエスノーがはっきりしている、食べ物の色・形が派手…など。私は海外経験が全くないので話を聞いていてとても楽しかったです。話を聞いていたら、私も海外へ行ってみたいくなりました。

次は「将来のためにいましておくこと」について話合いました。聞いたことを自分なりに3つにまとめてみました。

1つ目は「高い目標を常に持ち続ける」ことです。ひとつの目標をクリアしたらそこで終わりではなく、次の目標に向かうことが大事なのです。何の目標もなく、ただ毎日を送るより、なにかを目指しながら生きていく方が充実した生活が送れるとおもいます。また、長い人生の中でどうしても達成できない目標が出てくると思います。そのときには、ぐだぐだと悩んだりせず、目標を柔軟に変えていくことも大切だと分かりました。

2つ目は「今のうちに失敗をたくさんする」ことです。大人になってからの失敗は取り返しのつかないものが多いですが、いま、学生のときの失敗は巻き返すことができます。それだけでなく、成功したことからも失敗から学べるがたくさんあります。なぜ失敗したのか、どこでつまづいたのか。失敗の原因を考えることが、次の成功に繋がるのです。

3つ目は「好きなものにはとことん打ち込む」ことです。何事にも言えることですが、どっちつかずよりやり抜くことが大事です。また、ディレクトフォースの方が言うには、自分が打ち込めることや趣味をもっておいたほうが良いそうです。私たち学生にはまだ遠い話かもしれませんが、定年を迎えて仕事がなくなったときに生き甲斐がなくなってしまうからだそうです。1つ目の「高い目標を常に持ち続ける」ことにも繋がる部分もありますが、ひまをもてあますよりも何かに打ち込んだ方がより充実した生活を送れると思います。私には今、これといった趣味がないので、これから何か自分が打ち込めるものを見つけたいと思いました。

話合いが終わり、自由に質問できる機会がありました。そこで私は「自分の苦手な人や性格が合わない人と仕事をしなければならぬときの上手い対処法」を質問しました。質問の答えは「仕事と割り切り、我慢するしかない」というとてもシンプルな答えでした。いま私も質問と同じような状況で、性格があわず苦手な人とどうしても関わらなければいけないときがあります。私は感情が顔にすぐ出てしまうので相手を不快にさせていないか心配になるときがありました。しかしこのあっさりした回答を聞いて「確かに割り切る他ないな」とおもえるようになりました。これから将来生きていくうえで今よりもっと苦手な人やいやな人とつき合っていかなければならないときがあると思います。そのときにいちいち悩むより、きっぱりと割り切ったほうが相手にも不快な思いをさせなくてすむし、自分も心地よく仕事ができると思いました。いまずぐに割り切るのは難しいですが、これからは我慢できる広い心をもてるようにしたいとおもいます。

今回のディレクトフォースは、短い時間でしたが多くのことを学ぶことができたとても有意義な時間でした。こんな経験ができたのも先生方や三菱商事の社員の皆さん、ディレクトフォースの方々など、たくさんの人の協力があったからこそだと思います。感謝の気持ちを忘れず、今回学んだことを今後の生活に生かしていこうとおもいました。

②OB・OGの方々との懇親会について

今回 二高OB・OGの東大生に直接話を聞くことができ、とても興味深い2時間でした。

「日本一の東大に入った人たちだから厳格なひとが多いのだろうか」と思っていました。そんなことはなく、とても気さくで話しやすい方々ばかりでした。私たちの質問にもひとつひとつ丁寧に答えてくれ、本当に学間において優秀なひとはこういう場面においても立派な人なのだな、と感心させられました。

質問をしていく中でひとつ驚いた回答がありました。「東大にはいるためのオススメの勉強法を教えてください」という質問に対し、「受験勉強はマイペースにしました」という回答でした。わたしは、東大に入るぐらいだからきっと過酷な受験勉強をしたものだともっていました。しかしそんなことはなく、1年生のときからこつこつと、まずは好きな教科から勉強したそうです。「スポーツの競技はフライングは失格だが、受験勉強にはフライングはない」最終日の解散のときに若林先生がこう言っていました。本当にその通りだと思いました。他のOGやOBの方に受験勉強について聞いてみても、みんな1年生のころからこつこつと勉強してきたそうです。つまり高校1年生のわたしも受験勉強はいまからもう始まっているのです。わたしは東大に入れるぐらいの才能はないかもしれませんが、でもどの大学に入るにしても、受験勉強は早く始めた方がいろんな点においてきっと有利だと思います。わたしには憧れている大学はいくつかありますが、どの学校もいまのままわたしの学力では入れるようなところではありません。いまから勉強しておけば、もしかしたら入れるかもしれません。だからこれから、すこしずつ受験勉強をはじめていけたらとおもいました。また、「まだ受験生ではないから」「テストまえに家で勉強すればよい」と思ってしまい、部活で疲れているからと自分に言い訳をして、授業をだらけて受けてしまうことがよくあります。ですが、授業をしっかりとうけ、授業中にその内容をしっかりと理解すればテスト勉強にもつながり、それは最終的には受験勉強にもつながっていくと思います。なにより真剣に教えてくださっている先生方に失礼だったと思います。だからこれからは、家庭での学習だけでなく、授業態度もあらため、希望する大学を目指していけたらと思いました。

今回直接二高のOB・OGの方々にはたくさんの質問ができ、これからどんな勉強をしていけばよいのかが分かり、夢に一步近づけた気がしました。今回のこの機会を無駄にすることなく、これから勉強に励んでいこうと思いました。

今回この東大研修全体を通し、ここには書ききることができないぐらい、本当にたくさんの貴重な体験をすることができました。これもたくさんの人の支えや協力があったからできたことです。それを無駄にすることなく、ここで得たことを私の未来につなげて行こうと思います。本当にありがとうございました。